



阪神北広域こども急病センター

2020年度 冬号

ニュースレター

全国で新型コロナウイルス感染者の増加が続いています。しかし、感染者の増加とともに、受診を控える方が増えています。コロナ禍においても健診や持病の治療、お子様の予防接種などの健康管理は必要です。例えば予防接種が遅れると免疫がつくのが遅れ、重い感染症にかかるリスクが高まります。特に乳児は免疫力が弱く、感染症にかかるリスクが高くなります。予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢をもとに決められていますので、コロナ禍においても予防接種は遅らせずに接種しましょう。今回は予防接種のお話です。



➡ 予防接種の目的



感染症にはワクチンで予防できるものがたくさんあります。ワクチンを打つとからだはその病原体に対して免疫を獲得します。免疫を獲得することによって病原体がからだに侵入しても病気にならない、または病気になっても症状が軽くすみます。予防接種は、安全で有効なワクチンを子どもたちに接種し、社会全体で感染症から子どもたちを守るためのものです。予防できる感染症は予防するのが一番です。

➡ 定期接種と任意接種

予防接種には、定期接種と任意接種があります。

定期接種とは、予防接種法で推奨されている予防接種で原則、無料で受けることができます。任意接種は個人の意思において、自費で受けるものです。任意接種だからといって受ける必要性が低いものではありません。重い病気や後遺症を防ぐことになりはならず、重要な予防接種です。

➡ 2020年10月からの変更点

- ・ロタウイルスワクチンが定期接種になりました。
- ・異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔のルールが一部変更になりました。



接種間隔についての3つのルール

- ①注射生ワクチンから次の注射生ワクチンの接種を受けるまでは27日以上の間隔をおくこと。
※注射生ワクチンとは、麻しん風しん混合ワクチン・水痘ワクチン・BCGワクチンなど
- ②同じ種類のワクチンの接種を複数回受ける場合はワクチンごとに決められた間隔を守ること。
※ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、ロタウイルスワクチン、B型肝炎ワクチンなどそれぞれのワクチンの接種を複数回受ける際の間隔が決められています。
- ③発熱や接種部位の腫脹(腫れ)がないこと、体調が良いことを確認し、かかりつけ医に相談の上、接種を受けること。

▶接種間隔についての3つのルールを守っている場合には、次のワクチン接種を受けるまでの間隔に制限はありません。かかりつけ医に相談の上、接種を受けるようにしてください。余裕をもったスケジュールで、計画的に接種を進めましょう。



**VPD (Vaccine Preventable Diseases)
ワクチンで防ぐことができる病気**

すべての感染症に対してワクチンがあるわけではなく、ワクチンで予防できる病気は限られています。

ワクチンで防げる主な病気

- ・ B型肝炎
- ・ ロタウイルス感染症
- ・ ヒブ感染症
- ・ 肺炎球菌感染症
- ・ ジフテリア
- ・ 破傷風
- ・ 百日咳
- ・ ポリオ
- ・ 結核
- ・ 麻しん（はしか）
- ・ 風しん
- ・ おたふくかぜ
- ・ 水痘（みずぼうそう）
- ・ 日本脳炎
- ・ インフルエンザ
- ・ ヒトパピローマウイルス感染症
- ・ A型肝炎
- ・ 髄膜炎菌感染症



電話相談をご利用ください

◆阪神北広域こども急病センターでは、
看護師による電話相談を行っています。

☎ 電話相談 ☎

072-770-9981

* 発信者番号を通知の上、おかけください



☎ 相談受付時間 ☎

平 日	午後 8 : 00 ~ 翌朝 6 : 30
土 曜 日	午後 3 : 00 ~ 翌朝 6 : 30
日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前 9 : 00 ~ 翌朝 6 : 30

こどもの急病でお困りのときは、お気軽にご相談ください。

診療のご案内

診療科目	小児科 (15歳以下、中学生まで) ※原則、内科の診療となります	
診療受付時間	平 日	午後 7 : 30 ~ 翌朝 6 : 30 診察開始は午後 8 時から
	土 曜 日	午後 2 : 30 ~ 翌朝 6 : 30 診察開始は午後 3 時から
	日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前 8 : 30 ~ 翌朝 6 : 30 診察開始は午前 9 時から

道路地図



阪神北広域こども急病センター
〒664-0015 伊丹市昆陽池 2 丁目 10 番地
<http://www.hanshink-kodomoq.jp/>

TEL : 072-770-9988
FAX : 072-770-9905